



ある とても 面白いのこど。
ひとりのおとこを 寺のおくさんが
このまちに やってきました。
ながい たびを してきたらしく とても つかぬでいて。
おくさんは おおきな おかきをかかえ、
いまにも あかちゃんが うまれそうでした。
ふたりは とめてもらえる いえを さがしましたが、
どこでも ことわられるばかり。
やっと ひとりの ひとが、いってくれました。
「うちの ふるいうまやなら とまっていよう。
こんや ひとばんだけでも あんぜんだろう」
ふたりは とても よろこびました。

